

お知らせ

記者発表資料	平成 25 年 12 月 2 日
資料提供先	浜田記者クラブ 益田記者クラブ

『空から発見!!』

災害時に備え、上空からの位置特定を容易に

～職員が上空から「対空標示」の有効性を確認しました～

先日お知らせしました、高津川の堤防上に河口からの距離を標示した対空標示を国土交通省職員が防災ヘリにより上空から、視認性や標示間隔等を確認しました。

搭乗者からは「上空からでもハッキリ確認でき、位置特定が容易だった」旨の報告を受け、対空標示の**有効性**が確認できました。

➤ 整備箇所: 高津川(直轄管理区間) 5箇所(別図参照)

豪雨や地震時などにより災害が発生した際は、被災箇所の早期発見を目的に上空からの情報収集を行います。堤防上の舗装面に河口からの距離を標示することで、上空から被災箇所の位置を特定することが容易になり、その後の応急復旧など迅速な対応につながることを期待されます。

今後、職員が感じた上空からの視認性や標示間隔等を踏まえ、浜田河川国道事務所管内の配置計画などを検討します。

<問い合わせ先>

国土交通省中国地方整備局 浜田河川国道事務所

副所長

みちなか みつき
道中 貢

(担 当) 河川管理課長

すがの ひではる
菅野 秀治

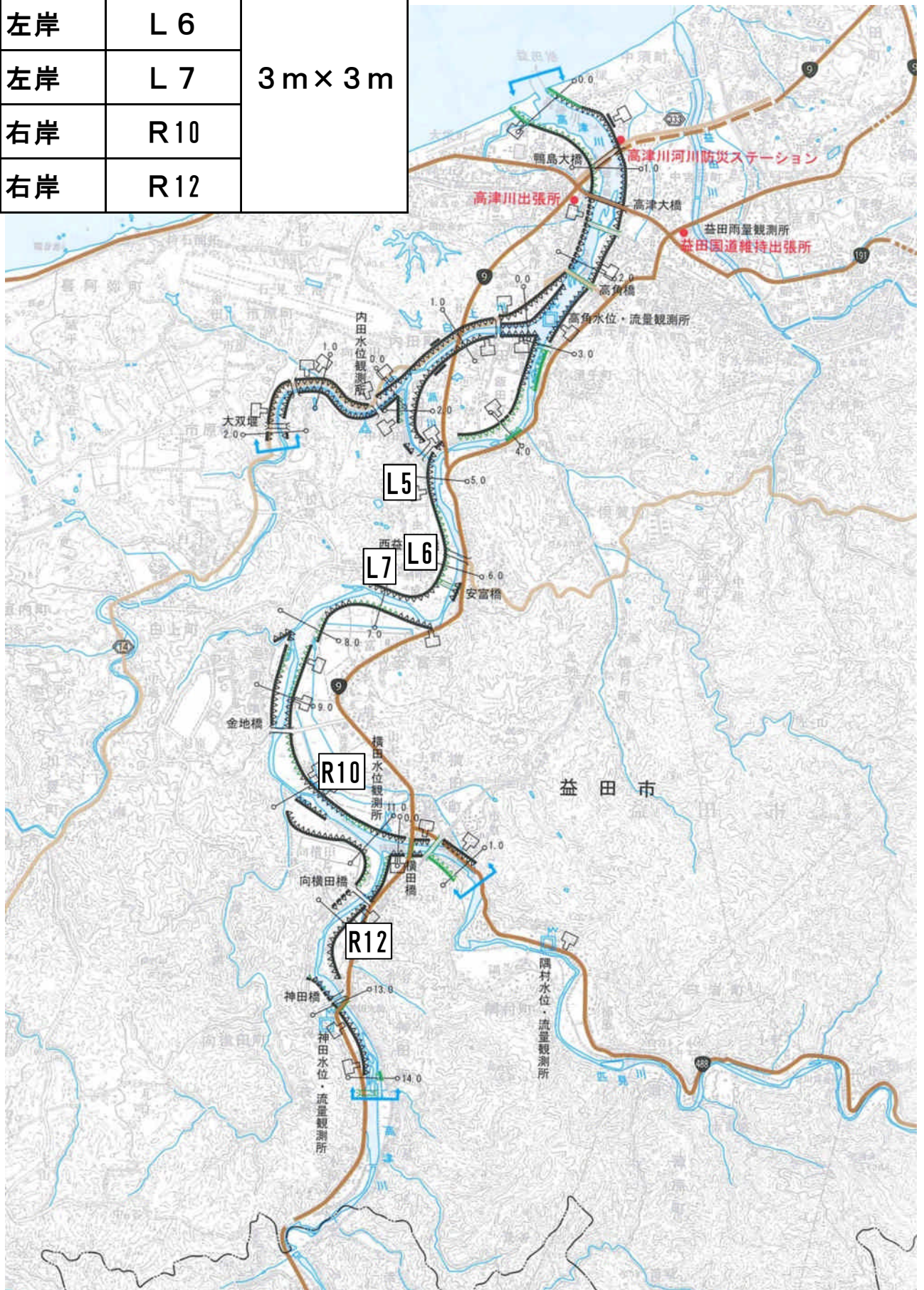
TEL 0855-22-2480

URL <http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/>

「対空標示」整備箇所

別図

箇所名	左右岸	表示内容	文字サイズ (1文字)
5k000	左岸	L 5	3m×3m
6k000	左岸	L 6	
7k000	左岸	L 7	
10k000	右岸	R 10	
12k000	右岸	R 12	



災害時には・・・

『高津川左岸、河口より6km付近で
侵食が有り』と言う様に位置特定が
容易になります。



対空標示
文字サイズ：3m×3m
(1文字)